

平成18年度図書館情報メディア研究科プロジェクト研究 研究成果報告書

種 目	寄附講座	共同研究	研究代表者 氏 名	薬袋秀樹
研究課題	地域の協働ネットワークを基盤とする公共図書館サービスモデルの構築に関する研究：地域を支える情報拠点として			
研究組織（研究代表者及び研究分担者）				
氏 名	所属研究機関・部 局・職	現在の専門	役割分担	
薬袋秀樹	図書館情報メディア 研究科・教授	公共図書館論	代表者・新しい図書館サービスモデルの普及と実現の研究	
西岡貞一	同上・教授	メディア開発論	共同研究者・子どもを対象としたワークショップの研究	
平久江祐司	同上・准教授	図書館情報学	共同研究者・公共図書館と学校図書館の連携・協力の研究	
宇陀則彦	同上・准教授	図書館情報学	共同研究者・電子情報資源の公共的利用と技術的展開の研究	
阪口哲男	同上・准教授	情報科学	共同研究者・電子情報資源の公共的利用と技術的展開の研究	
鈴木佳苗	同上・准教授	社会情報学	共同研究者・子どもを対象としたワークショップの研究	
濱田幸夫	同上・講師	図書館情報学	共同研究者・新しい図書館活動の評価指標の研究	
大庭一郎	同上・講師	図書館情報学	共同研究者・公共図書館と学校図書館の連携・協力の研究	
研究目的				
<p>現在、社会の急激な変化に伴い、地域社会と人々の生活は様々な課題に直面している。そのため、公共図書館に対しても、これらの課題解決に対する支援が求められており、そのための公共図書館の改革が論じられてきている。文部科学省生涯学習政策局に設けられた「これからの図書館の在り方検討協力者会議」は、各地の図書館における改革の取り組みをもとに、2006年3月『これからの図書館像－地域を支える情報拠点として（報告）』を発表した。この報告書は、これからの図書館の在り方を包括的にまとめているが、この報告書には、サービス改善のための具体的な方策や個別サービスの具体的な設計・実施方法は十分には示されていない。また、図書館のサービスに関する理論的裏づけも必ずしも十分ではない。そこで、本研究では、個別サービスの具体的な方策、設計・実施方法や図書館サービスの理論的裏づけについての研究を深める。</p>				
研究成果				
<p>本研究は3年間の計画で取り組み、その第一年目として、多様な機関・組織との連携・協力による協働ネットワークを基盤とする新たなサービスモデルを構築するための実証的研究を行った。そのアプローチは、(1)文部科学省の図書館施策の検討と普及、(2)図書館サービスの新しい評価指標の導入、(3)関係機関との連携、(4)情報技術の導入の4つの側面から行った。</p> <p>(1)については、第一に、『これからの図書館像』の内容及び実施方法の解説記事を発表するとともに、文部科学省の図書館関係の報告・基準としての歴史的背景・位置づけを調査し、日本生涯教育学会第27回大会で発表を行った。また、レファレンスサービスの確立における『これからの図書館像』の意義について検討し、『図書館雑誌』に発表した。第二に、研究者と図書館員との交流のための研究集会を開催し、図書館現場での『これからの図書館像』の受けとめ方や実施方法について調査し、意見を交換した。第三に、図書館員の研修における講演等において『これからの図書館像』の理念や内容の解説を行うとともに、現場での具体的な方策について質疑応答、討論を行った。以上から、図書館における具体的な方策としては、レファレンスサービスと地域支援サービスの組み合わせによる、段階的な取り組みが有効</p>				

であるという意見が多いことがわかった。

(2)については、公共図書館のサービスや業務のあり方を検証するため、全国の都道府県立図書館及び約 200 館の市町村立図書館を対象として『都道府県による市町村立図書館の支援等に関する調査』を行い、都道府県による市町村立図書館の支援策の現状及び課題、改善すべき点等を明らかにした。その結果について、2007 年日本図書館情報学会春期研究集会において発表を行った。

(3)については、公共図書館と学校図書館の連携における『これからの図書館像』の意義について検討し、『図書館雑誌』に発表した。公共図書館と学校図書館連携の先進事例として、文科省の連携協力事業の報告書等を検討し、その現状と課題を明らかにした。その成果を第 35 回全国学校図書館研究大会のフォーラムにおいて発表した。また、本と他メディアを組み合わせたメディアミックのサービスの在り方をワークショップにより検証した。学校における読書振興のための「朝の読書」の実施方法と学校図書館、公共図書館との連携方法についても検討し、『教職研修』に発表した。

(4)については、筑波大学電子図書館システム構築をつうじて、電子情報資源を前面に押し出したポータルデザインが有効であるという知見を得た。

代表的な研究発表・特許等の成果一覧，特記事項等

1. 論文・記事

- ・葉袋秀樹『『これからの図書館像』がめざすもの』『図書館雑誌』100(8), 2006, p.483-485.
- ・葉袋秀樹「レポート紹介：これからの図書館像：地域を支える情報拠点をめざして（報告）」『情報管理』49(8), 2006, p.454-459.
- ・葉袋秀樹，春田和男「文部科学省の公共図書館関係報告・基準に関する考察」『日本生涯教育学会第 27 回大会発表要旨集録』2006,p.17.
- ・葉袋秀樹「朝の読書にどう取り組むかー基本文献と具体的な指針」『教職研修』35(6), 2007, p.94-97.
- ・葉袋秀樹「朝の読書にどう取り組むか(2)ー実践報告の活用」『教職研修』35(7),2007, p.94-97.
- ・葉袋秀樹「朝の読書にどう取り組むかー具体的な指針の解説①」『教職研修』35(8), 2007,p.98-101.
- ・葉袋秀樹「朝の読書にどう取り組むか(4)ー具体的な指針の解説②」『教職研修』35(9), 2007.5,p.98-101.
- ・葉袋秀樹「朝の読書にどう取り組むか(5)ー具体的な指針の解説③」『教職研修』35(10), 2007 (印刷中) .
- ・葉袋秀樹「図書館の読書サービスの変容と課題」『生涯学習にわたる読書能力の形成に関する総合的研究ー平成 16～18 年度科学研究費報告書 基盤研究 (B) 課題番号 16330161』2007, p.19-26.
- ・葉袋秀樹「<基調講演>『これからの図書館像』を実現するために」『全国公共図書館研究集会報告書』平成 18 年度, 2007 (印刷中)
- ・大庭一郎『『これからの図書館像』とレファレンスサービス』『図書館雑誌』100(11), 2006, p.768-771.
- ・平久江祐司『『これからの図書館像』と学校図書館：児童青少年サービスから学校支援サービスへ』『図書館雑誌』101(1), 2007, p.40-41.
- ・濱田幸夫「都道府県による市町村立図書館支援の現状と課題」『2007 年日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』, 2007, p.71-74.
- ・鈴木佳苗.“大人 Message to CAMP 図書館でのワークショップ開催”.CAMP (Children's Art Museum & Park). (オンライン), 入手先<http://www.camp-k.com/otona/home/column_collabo.php?id=37>, (参照 2007-05-02).

2.研究発表

- ・研究集会「明日の図書館を切り啓く：『これからの図書館像』を実現するために」（2006年12月2日，筑波大学春日キャンパス共同研究会議室1）を開催し、『これからの図書館像』における個別サービスの具体的な方策，設計・実施方法や図書館サービスの理論的裏づけについて図書館員と研究者の意見の交流と参加者の啓発を図った。
- ・2006年日本生涯教育学会第27回大会において，学会発表「文部科学省の公共図書館関係報告・基準に関する考察」（葉袋秀樹，春田和男 2006年10月7日，常磐大学）を行い、『これからの図書館像』に至る文部科学省の公共図書館関係報告・基準の歴史的背景と経過に関する分析の結果を発表した。
- ・2007年日本図書館情報学会春季研究集会において，学会発表「都道府県による市町村立図書館支援の現状と課題」（濱田幸夫，2007年3月31日，大阪市立大学梅田サテライト）を行い，本プロジェクトで実施した約240館の公共図書館を対象とした，全国の都道府県による市町村立図書館支援の具体的な取組状況や今後の方向性及び課題についての調査結果を発表した。
- ・2006年第8回図書館総合展フォーラムで，出張講座「図書館サービスの新しい解釈」（濱田幸夫，2006年11月，パシフィコ横浜）を行い、『これからの図書館像』におけるサービスの在り方について新しい解釈を提示し，参加者の啓発を図った。
- ・2006年第35回全国学校図書館研究大会フォーラムパネリストとして，「学習を支える学校図書館とは」（平久江祐司，2006年8月，郡山女子大学）において，学校図書館と公共図書館連携・協力の意義と役割等について講演した。
- ・2006年度全国公共図書館総合・経営部門研究集会で，基調講演「『これからの図書館像』を実現するために」（葉袋秀樹，2007年1月，山口県立図書館）を行い，本プロジェクトの研究成果を生かした『これからの図書館像』の実現のための具体的方策について講演を行い，参加者との討論を行った。
- ・このほか，千葉県公共図書館協会公共図書館職員研修大会，関東地区公共図書館協議会総会・研究発表大会，関東地区公共図書館協議会都県立図書館運営研究会，静岡県図書館大会，図書館地区別（北日本）研修，東海北陸地区公共図書館研究集会，群馬県図書館大会，川崎市社会教育職員研修，山梨県図書館経営研修，埼玉県内公共図書館職員等研修会，特別区職員研修専門研修，京都府図書館等連絡協議会定期総会において，本プロジェクトの研究成果をもとに、『これからの図書館像』の趣旨及び実現方法に関する講演（葉袋秀樹）を行い，参加者との質疑応答及び討論を行った。